

2021 年度松浦晃一郎先生公開講演会

主催：国際文化学部

共催：社会連携センター

日時 2021 年 11 月 30 日（火曜日）13：00～14：30

会場：名古屋学院大学名古屋キャンパスたいほう

メアリーホール

講演会開催の趣旨 2016 年度から 18 年度まで本学特任教授を勤められた松浦晃一郎先生は第 8 代ユネスコ事務局長として日本人国連職員の中でもトップクラスの任務に就かれ多大な国際貢献をなさいました。ユネスコ在職中、松浦先生は世界遺産の登録と保全に積極的に取り組まれました。また世界無形文化遺産のコンセプト誕生にも多大な尽力をなさいました。日本の世界遺産登録、また世界でもトップクラスの無形文化遺産登録にも大きなインパクトを与えました。地方の観光推進に貢献し、日本人の心の中に平和の砦を築くことにつながりました。このような国際社会における業績と過去数年の NGU 特任教授としてのご貢献を称え、名古屋学院大学からは松浦先生に名誉博士号が授与されています。今回は 2021 年度の公開の講演会を開催いたします。

現在の日本はひとまず平和ですが、世界の国の中には戦争、内戦、テロ、宗教対立などに巻き込まれている国が少なからずあります。内戦とテロのために国内のすべての世界遺産が危機遺産になってしまったシリアのケースやテロ行為のためにバーミヤンの遺跡が破壊されたアフガニスタン、又は、内戦のため世界遺産がダメージを受けているリビアやイエメンのような国々もあります。また、今年は 20 年間国際社会が支援してきたアフガニスタン政権が崩壊し、タリバン政権に取り替わった歴史的な年でもあります。今回は戦争やテロと世界遺産の保護保全について松浦先生にご講演いただきます。松浦先生は、ユネスコ時代、アフガニスタンの仏教遺跡を守ろうとして様々な努力をなさった経験もある国際人ですから、学ぶことはいろいろあると思います。ふるってご参加ください。

講演会プログラム 13:00～14:30（開場 12:15）¹

★ 開会挨拶 伊沢俊泰 副学長

★ 講演者および講演の趣旨紹介 黄名時 国際文化学部長

★ 松浦晃一郎先生ご講演（50 分）

演題「戦争、内戦、テロや人的災害から人類の文化遺産を保護・保全するための挑戦 - アフガニスタン バーミヤンのケースから学ぶ」

★ 講演会のまとめと質疑応答（50 分）

★ 閉会（14:30 予定）

この講演会は YouTube <https://youtu.be/6iyzys514dM> 同時配信にてどなたでもご参加いただけます。

¹ 総合司会 国際文化学部 長田こずえ(教授)